

領域	走・跳の運動		単元名	高跳び	指導学年	第4学年			
単元の目標	知識及び技能	高跳びの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切り、高く跳ぶことができるようにする。							
	思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を工夫するとともに、友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。							
	学びに向かう力、人間性等	高跳びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。							
単元計画	時	学 習 内 容		学習活動		評価機会及び評価方法			
						知	思	態	
	1	高跳びにおける学習の進め方や用具の準備、片付けの仕方をすることができる。		・学習の進め方を知る。 ・高跳びの特性を理解する。				③⑤ 観察	
	2	膝を柔らかく曲げ、足から安全に着地することができる		①準備・準備運動 ②全体計画会 ・全体課題を確認 ③グループ計画会 ・グループの目標の設定 ・個人課題の設定 ④前半練習 ・課題を意識して練習 ・グループでの教え合い ⑤中間研究会 ・動画を確認しながら、後半練習への課題を確認 ⑥後半練習 ・課題を意識して練習 ・グループでの教え合い ⑦グループでの競争 ・1人3回チャレンジ（高さ自己申告制） ⑧グループ反省会 ・グループ目標の振り返り ・個人目標の振り返り ⑨全体反省会 ・全体課題を振り返る ⑩片付け		④ 観察			
	3	踏切り足（跳びやすい方の足）を決めて跳ぶことができる。				② 学習カード 動画		① 観察	
	4	3～5歩の助走から強く踏み切って上方に高く跳ぶことができる。「トン・トン・ト・ト・ン タッ」				③ 観察 動画		② 観察	
	5	自分の課題を見付けて解決のための場を選び、練習することができる。				① 観察 学習カード	① 観察 学習カード		
	6						② 観察	④ 観察	
	7	〈記録会〉 これまでの練習の成果を発揮して、記録更新を目指して取り組むことができる。		・記録会に向けての練習を行う。 ・練習の成果を発揮して記録会を行う。 ・単元の振り返りを行う。		総括的な評価			
	知識・技能		①高跳びの行い方について理解し、言ったり書いたりしている。 ②踏切り足を決めて跳ぶことができる。 ③3～5歩の助走から強く踏み切って上方に高く跳ぶことができる。 ④膝を柔らかく曲げ、足から着地することができる。						
	思考・判断・表現		①助走のリズムや踏切りなど、自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための場を選んでいる。 ②友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。						
	主体的に学習に取り組む態度		①高跳びに進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④友達の考えを認めようとしている。 ⑤場や用具の安全を確かめている。						

本時の展開 【例】（5／7 時間目）

本時の目標		知識及び技能：3～5歩の助走から強く踏み切って上方に高く跳ぶことができるようにする。 思考力、判断力、親力等：助走のリズムや踏み切りなど、自己の課題を見付け、その課題解決のための練習の場を選ぶようにする。 学びに向かう力、人間性等：友達の考えを認めようとすることができるようにする。
学習活動（例）		指導・援助
導 入	①準備・準備運動	協議①：思・判・表のねらいに迫るための、導入での学習内容や学習活動、問い、その意図
	②全体会、健康観察 ・ 本時の課題を確認 ・	
	③グループ会 ・ ・	
	④前半練習 ・○○コース ・○○コース	
展 開	⑤中間研究会（※必要に応じて） ・	協議②：思・判・表のねらいに迫るための、展開での学習内容や学習活動、問い、その意図
	⑥後半練習 ・ ・	
	⑦グループでの競争 ・ 1人2回チャレンジ （※高さ自己申告制）	
	⑧グループ会 ・	
終 末	⑨全体会、健康観察 ・ 本時の課題を振り返る	◆評価規準 【思考・判断・表現】（観察・学習カード） 助走のリズムや踏み切りなど、自己の課題を見付け、その課題解決のための練習の場を選んでいる。 【知識・技能】（観察・学習カード） 高跳びの行い方について理解し、言ったり書いたりしている。
	⑩片付け	